

事業報告書

1. 事業名

遺伝子組換え実験安全研修会

2. 事業目的

文部科学省の方針に基づき、各機関のより良い遺伝子組換え実験安全管理体制構築に関する情報提供・情報交換および討論を行う。

3. 開催期間

平成26年8月2日（土）10時00分～16時00分

4. 開催場所

一橋大学一橋講堂 中会議場1～4

5. 主催

全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会 主催

国立大学法人中国地方バイオネットワーク連絡会議 共催

6. 後援

文部科学省

7. 参加機関

行政官庁 2組織、国立大学法人 35校、公私立大学26校、

国立研究所・独立行政法人・公益財団法人 15機関、民間研究所等25組織

合計103機関 参加者合計175名

8. 事業概要

プログラムに従って、午前中は開催の挨拶の後、文部科学省ライフサイエンス課生命倫理・安全対策室 宮本英尚室長補佐によるカルタヘナ法の説明ならびに広島大学 山本卓教授によるゲノム編集技術に関する講演が行われ、講演後に会場の参加者からの質問があり活発な討論が行われた。

午後は、大学遺伝子協 難波栄二代表幹事より、ゲノム編集に関する国内の状況についての説明が行われ、引き続き茨城大学 立川雅司教授による海外諸国の政策検討状況についての講演が行われた。続いて、ゲノム編集に関する生物種ごと（植物、動物等）の議論が行われた後、ゲノム編集生物をどう扱うかについて質疑応答や討議・意見交換が活発に行われた。

参加者へのアンケート調査を行った結果、有用な情報が得られ、大変有意義だったとのことであった。また、ゲノム編集に関して様々な意見が寄せられた。今後このような機会があれば積極的に参加したいとの意見が多数寄せられた。

参考資料

- ① 当該安全研修会のポスター
- ② 当日スナップ写真

第6回 遺伝子組換え実験安全研修会 ～ ゲノム編集生物をどう扱うか ～

日時：2014年8月2日（土）10：00～16：00

会場：一橋大学一橋講堂 中会議場1～4
（東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内）

東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線
神保町駅（A9出口）徒歩4分
東京メトロ東西線 竹橋駅（1b出口）徒歩4分

プログラム

10：00～12：00

- カルタヘナ法について
（文部科学省 ライフサイエンス課 生命倫理・安全対策室）
- ゲノム編集技術の基本原則と研究の現状
（広島大学 大学院理学研究科 数理分子生命理学専攻 山本 卓）

13：00～16：00

- ゲノム編集に関する国内の状況
- 新育種技術（NBT）をめぐる海外諸国の政策検討状況
（茨城大学 農学部 地域環境科学科 立川 雅司）
- ゲノム編集に関する生物種ごとの議論（動物、植物）
- ゲノム編集生物をどう扱うか

この安全研修会は、遺伝子組換え実験の安全管理に関係する方であればどなたでも参加出来ます



参加費

2,000円（資料代）

申込方法

下記ホームページからお申し込み下さい

<http://www1a.biglobe.ne.jp/iden-kyo/index.html>

参加申し込み締切：2014年7月18日（金）

お問合せ先

全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会 事務局

〒683-8503 鳥取県米子市西町86

鳥取大学生命機能研究支援センター 遺伝子探索分野内

TEL:0859-38-6472 FAX:0859-38-6470

E-mail: daigaku.idenshi.kyo@med.tottori-u.ac.jp

主催：全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会

共催：国立大学法人中国地方バイオネットワーク連絡会議

後援：文部科学省

研修会当日のスナップ写真



受付



午前の講演



午前の講演



午後の講演



午後の全体会議



午後の全体会議